

石井市長公約 市民の声を集めて作った「西宮の未来」政策集 100+3項目 進捗状況(集計表)

区 分	○ 達成又は 計画的に進行中	△ 一部進行中	→ 検討中	計
すべての子どもに行き届く子育て支援を拡充します！	8	5	0	13
地域社会と共に、西宮の教育を支えます！	8	5	0	13
健康を応援し、安心できる福祉のまちをつくれます！	6	3	2	11
まちのにぎわい・市民活動を支え、産業基盤を強化します！	12	2	1	15
市民の暮らし、安全・安心のまちづくりを進めます！	10	3	0	13
都市基盤整備を進め、西宮の魅力をさらにアップします！	4	6	1	11
環境学習都市として環境問題に正面から取り組みます！	3	4	0	7
シチズンシップのまちづくり、市民と共に歩みます！	5	5	1	11
行政経営改革を、さらに、前へ！	3	3	0	6
新型コロナウイルス対応	-	-	-	-
合 計	59	36	5	100

※新型コロナウイルス感染症対応が終了したため、101～103は評価対象外としています

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
すべての子どもに行き届く子育て支援を拡充します！	1	18歳までの医療費を所得制限なしで無償化し、子育て世帯を支えます。	●令和5年1月からこども医療費助成制度を拡充し、これまで対象外であった所得基準額以上の小学4年生～中学生と、新たに高校生世代にも医療費の一部助成を実施しています。	●制度を安定的に運営するとともに、制度拡充について引き続き検討していきます。	△
	2	2022年春に大幅改善した待機児童ゼロの対策を引き続き取り組み、増加する保育需要に対応します。	●令和4年度 保育所の新規開設等により594人分の定員を増加しています。 ●令和5年度 保育所の新規開設等により204人分の定員を増加しています。	●令和6年4月 保育所等の新規開設により181人分の定員を増加しています。 ●これまでの取組により定員は一定数増加したものの、待機児童の解消には至っていないため、引き続き、私立幼稚園の認定こども園移行や、卒園後の連携先を確保した小規模保育事業の整備等に取り組んでいきます。	△
	3	「幼児教育保育ビジョン」に基づき、すべての子どもに必要な支援が行き届く体制をつくります。	●幼児教育・保育ビジョンに基づく施策の評価・改善等を行う「西宮市幼児教育・保育ビジョン推進会」を立ち上げました。 ●市内の幼児教育・保育施設で新たに採用した幼稚園教諭・保育士等へ冊子を配布し、研修等で活用しました。 ●施設種別や設置主体の垣根を越えて、子どもの育ちについて語り合うワークショップを公私幼保4団体と共催で開催しました(参加園:50園・参加人数:61人)。	●「西宮市幼児教育・保育ビジョン推進会」で幼児教育・保育ビジョンに基づく施策の評価・改善等を行っていきます。 ●市内の幼児教育・保育施設で新たに採用した職員へ冊子を配布し、研修等で活用するとともに、ビジョンの周知・浸透を図っていきます。 ●引き続き、公私幼保4団体とワークショップを開催(年1回)していきます。	○
	4	公立幼稚園と保育所のあり方について幼保の枠を超えて総合的に検討を進め、持続可能な幼児教育・保育の体制をつくります。	●「西宮市幼児教育・保育のあり方」に基づく、具体的な取組であるアクションプラン[part 1][part 2]を策定しました。 ●アクションプランに基づく、公立認定こども園の設置準備等を進めました。	●アクションプランに基づく公立認定こども園、幼児教育・保育センター(仮称)の設置準備等を進めていきます。 ●「西宮市幼児教育・保育のあり方」に基づく公立園の再編計画等を検討します。(アクションプラン[part 3]の策定)	○
	5	『宮っ子つながり支える条例(仮称)』を制定し、社会で子どもをしっかり支える理念を示します。	●条例の主体となる子供たちの意見を聴くためのアンケートを市立中学校全生徒及びYouth委員(高校生)へ実施しました。	●子供たちへのアンケート等、市民の意見や、既存の審議会(子ども・子育て会議等)に意見聴取したうえで、パブリックコメントを実施し、令和7年度中の条例制定を目指します。	△
	6	子育てひろばや子育て相談、赤ちゃん訪問事業等を通してお母さんの孤立化を防ぎます。	●令和6年1月に瓦木地域に市内21か所目となる子育てひろばを開設しました。 ●保健師による子育てひろばの巡回、相談を実施しています。 ●民生委員による健やか赤ちゃん訪問事業は、令和6年1月以降は「妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援」と一体的に実施することとしました。市内で子育てひろばや子育てコンシェルジュを実施している事業者へ委託することで、乳児のいる家庭を地域の子育て広場などの相談機関につないでいきます。	●22か所目の子育てひろばの整備については、財政状況等を踏まえ、検討していきます。 ●保健師による子育てひろばの巡回、相談を実施します。 ●引き続き、市内で子育てひろばや子育てコンシェルジュを実施している事業者へ委託し「妊婦・子育て家庭への伴走型相談支援」を実施します。	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
すべての子どもに行き届く子育て支援を拡充します！	7	<p>ヤングケアラーの社会的認知の向上や早期発見に努め、地域社会と共に必要なサポートを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「重層的支援体制整備事業への移行準備事業」を開始し、ヤングケアラーに限らず、複合的な福祉課題を抱える世帯を市や各相談支援機関が連携して支援する体制づくりに取り組んでいます。 ●令和4年度より、家事・育児に不安・負担を抱えた子育て家庭、ヤングケアラー等がある家庭をヘルパーが訪問する子育て世帯訪問支援事業を開始しました。 ●学校への認知調査から早期発見に向けた取組の強化と児童生徒・保護者への周知に向けた啓発を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和7年度より、複合的な福祉課題を抱える世帯を支援するため、「相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施するなど、引き続き「重層的支援体制整備事業への移行準備事業」を推進していきます。 ●引き続き、子育て世帯訪問支援事業を実施します。 ●学校への認知調査から早期発見に向けた取組の強化と児童生徒・保護者への周知に向けた啓発を実施します。 	○	
	8	<p>広がりつつある子ども食堂が、さらに地域のつながりが支える安心できる子どもの居場所として普及拡大するように支援を継続します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運営(食堂開催と食事配布)に対する補助を実施しました。 ●市内子ども食堂ネットワーク会議を開催したほか、子ども食堂開設や寄附等に関する電話相談を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●補助額を見直し、運営補助を継続していきます。 ●子ども食堂開設や寄附等に関する電話相談を実施します。 	○
	9	<p>ひとり親家庭の母又は父の養育費の確保のため、養育費の取り決めから、保証・履行確保までの総合的な支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度より養育費確保支援事業(公正証書等作成費用・養育費保証会社利用費用の補助)を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、養育費確保支援事業(公正証書等作成費用・養育費保証会社利用費用の補助)を実施します。 	○
	10	<p>里親を必要とする子どもたちを家庭の温かい環境で養育できるように里親制度の普及拡大を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度より里親による子育て家庭ショートステイを実施しています。 ●里親制度説明会・相談会を西宮こども家庭センターと共同開催し、市政ニュースによる里親制度の広報啓発を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●里親による子育て家庭ショートステイを実施します。 ●里親制度説明会・相談会を西宮こども家庭センターと共同開催するほか、里親制度の広報啓発活動を実施していきます。 	○
	11	<p>放課後居場所事業・放課後キッズを全校展開し、学校を放課後も子どもたちが伸び伸びと過ごせる自由で安全な居場所にします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度 新たに直営型5校、委託型1校を実施し、合計26校(直営型20校、委託型6校)で実施しました。 ●令和5年度 新たに直営型4校を実施し、合計30校(直営型24校、委託型6校)で実施しました。なお、不定期に実施していた直営型の2校について、他校と同様、コーディネーターを配置し常設的に実施する事業形態に移行しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度 新たに委託型1校を実施し、合計31校(直営型24校、委託型7校)で実施していきます。 ●引き続き、全校での実施を目指します。 	△
	12	<p>出会いの機会創出や共働き世代の支援、子育てサポート等を通じて少子化対策に取り組めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●少子化対策をテーマとした協働提案事業を実施したほか、出会いの場の創出として、若年層を対象としたスポーツ事業を実施しました。 ●安心して子育てができるよう、一人ひとりに寄り添った切れ目のない包括的な支援を推進しています。 ●両度町特定公共賃貸住宅において、令和5年10月より、18歳未満の子を持つ子育て世帯を対象に、最大6年間家賃を減額する制度を開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●安心して子育てができるよう、一人ひとりに寄り添った切れ目のない包括的な支援を推進していきます。 ●引き続き、子育て世帯に対する家賃減額制度を実施します。 	△
	13	<p>子どもたちの声を市政につなげるため、イベントの開催や仕組みづくりについて検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年10月にリニューアルした市のホームページのトップページに、主に中高生からの市民の声を受ける投稿フォーム「Teen's Voice」を設置しました。 ●まちづくり等に関心を持つ高校生たちで構成するYouth委員会を令和4年8月に設置し、定期的な委員会活動を通じて若者らしい施策や意見を形成し提言しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、「Teen's Voice」の運用やYouth委員会からの提言等を通じて、子供たちの声を市政につなげていきます。 	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況
地域社会と共に、西宮の教育を支えます！	14	改定した教育大綱の理念に沿って、児童生徒や市民に向けた地域社会の一員としてのシナジーの醸成、主権者意識の向上に取り組めます。 ●小学1年生の保護者に教育大綱リーフレットを配布する等、周知を図りました。 ●中学校や高校の授業での学習のほか、市庁舎訪問・市長への提言や市議会訪問(西宮高校)、西宮学(西宮東高校)を実施しました。 ●児童生徒を対象とし、ジェンダーや防災をテーマとした「SDGs学習プログラム」を企画、実施しました。	●引き続き、教育大綱リーフレットの配布等により周知を図るとともに、授業での学習等を実施していきます。	○
	15	堅実に広がっているコミュニティスクールをさらに拡充し、地域と学校とのつながりを支援し、地域ぐるみで子どもたちの育ちや安全を支える取り組みを進めます。 ●令和5年4月に、幼稚園を除く全市立学校(63校)にコミュニティ・スクールを導入しました。	●コミュニティ・スクールが、その機能を効果的・継続的に発揮し続けられるよう、伴走支援に取り組んでいきます。	○
	16	小中一貫校としてスタートしている西宮浜義務教育学校の教育内容や環境をさらに充実させ、学校や地域の魅力向上に努めます。 ●学校の魅力を紹介する広報パンフレットや、学校の様子を紹介する動画を作成しました。	●引き続き、学校や地域の魅力向上に努めます。	△
	17	一人一台のタブレットを活用して、児童生徒一人ひとりに寄り添った個別最適化を進めることで、学びの質を高めます。 ●教職員の1人1台タブレットの活用スキル向上のため、全校への訪問研修を実施したほか、教職員向けに活用事例やマニュアルなどを提供するポータルサイト「GIGAスクール構想のススメ」を開設しました。 ●児童生徒の活用の利便性を高めるため、学習用eポータルを整備し、コンテンツ充実を図るとともに、学校図書館管理システム更新に伴い、児童生徒端末での蔵書検索を学習用eポータル経由で可能としました。また、児童生徒端末を用いた電子図書による読書活動の検証を実施しました。 ●デジタル教科書実証事業を全校で実施しました(全校に外国語のデジタル教科書を配備)。	●ICT訪問研修の継続、オンデマンド形式での研修など教員研修のさらなる充実を図るとともに、ポータルサイト「GIGAスクール構想のススメ」の充実に取り組みます。 ●引き続き、学習用eポータルのコンテンツを充実させていきます。 ●現在の児童生徒端末利用環境の改善のため、再構築に向けた検討を開始します。	△
	18	オンラインも活用して宮っ子のグローバル教育をさらに前へ進めます。 ●オンラインを活用した海外の学校(姉妹・友好都市を含む)との交流を実施しました。 ●中学生英語ワークショップを実施しました。	●引き続き、海外の学校との交流やワークショップを実施します。	△
	19	温かくおいしい自校調理方式を守り、子どもたちの声を活かして小中学校給食の魅力を高めます。 ●「あったらいいな～こんな献立」と題し、市立小中学生から新献立を募集しました。令和5年度は1,114作品の応募があり、優秀賞2点については今後、給食で登場する予定です。	●引き続き、「あったらいいな～こんな献立」の取組を継続し、子供たちの声を生かした新献立として提供していきます。	○
	20	部活動への外部人材の活用や複数校制度を通じて、生徒たちの部活動の選択肢を増やすなどの取り組みを進めます。 ●部活動指導員の任用を拡充しました(11校で実施)。 ●部活動の地域移行のあり方の検討を実施しました。	●引き続き、部活動指導員の任用の拡充に取り組むとともに、部活動の地域移行のあり方の検討を進めます。	△
21	不登校児童生徒への支援を拡充するとともに、子どもたちの心のケアを充実させていきます。 ●教育支援センター「あすなろ」を、常設型4施設「みらい」「なるおきた」「かわらぎ」「やまぐち」と、サテライト型3施設「しおせ」「うえがはら」「はまわき」で運営しました。 ●オンラインを活用した「あすなろオンライン」の本格実施を開始したほか、校内支援センターとして、サポートルームの充実を図れるようコーディネートしました。	●教育支援センター「あすなろ」や「オンライン」と、学校における「サポートルーム(校内教育支援センター)」との2本柱を掲げ、更なる不登校児童生徒支援の充実を図ります。 ●保護者支援として、相談窓口等の情報提供や、情報交換会の場「あすなろ会」を開催します。	○	

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
地域社会と共に、西宮の教育を支えます！	22	通学支援の新規事業化など、インクルーシブ教育保育のさらなる拡充を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●学校協力員による通学支援(令和4年度～)や、校外行事における移動支援(令和5年度～)を開始しました。 ●西宮支援学校と地域学校園における医療的ケア支援体制の構築や、地域学校園における特別支援教育体制の充実に取り組みました。 ●令和5年度より、公立保育所での医療的ケア児の受け入れを開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、学校における支援を継続するとともに、体制の構築、充実に取り組みます。 ●公立保育所での医療的ケア児の受け入れを拡充していきます。 	○
	23	市施設の空きスペースを自習室としてこれまで以上に開放し、子どもたちの自主的な学びをサポートします。	<ul style="list-style-type: none"> ●自習室・学習室の周知を図り、利用促進に努めました。 ●一部公民館で、夏休み期間中、試行的に集会室を自習室として開放し、一定の利用ニーズを確認しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、自習室学習室の周知案内に努め、利用促進を図ります。 ●公民館では、夏休み期間中の自習室開放に引き続き取り組みます。 	△
	24	老朽化した学校施設の建替えや大規模改修を進め快適な教育環境をつくります。	<ul style="list-style-type: none"> ●建替えでは、令和4年度に安井小の校舎完成、令和5年度は瓦木中の校舎改築工事を実施し、大社中の基本構想・基本計画の策定に着手しました。 ●大規模改修では、令和4年度に4校で実施し2校が完了、令和5年度は新たに4校を加えて実施1校が完了しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●建替えでは、令和6年度に瓦木中の校舎が完成予定です。引き続き大社中の基本構想・基本計画の策定に取り組みます。 ●大規模改修では、令和6年度は引き続き5校で実施し1校が完了する予定です。 	○
	25	既に整備済みの中学校に加え、全小学校と市立高校の体育館にエアコン設置を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度 小学校10校の体育館にエアコンを設置しました。 ●令和5年度 小学校10校の体育館にエアコンを設置しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度 小学校10校、高校1校の体育館にエアコンを設置します。 ●令和7年度 小学校10校、高校1校の体育館にエアコンを設置し、全市立学校体育館の整備が完了する予定です。 	○
	26	学校トイレの洋式化を進めるとともに、教室のLED化を進めるなど、学校の環境改善を積極的に行います。	<ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度 トイレ洋式化は、小学校5校22か所、中学校3校14か所で実施しました(洋式化率56.0%)。教室、体育館照明のLED化は、小学校3校、中学校15校、義務教育学校(教室)1校で実施しました。 ●令和5年度 トイレ洋式化は、小学校5校29か所、中学校5校20か所で実施しました(洋式化率:59.2%)。教室、体育館照明のLED化は、小学校16校、中学校1校、高校1校、東高校ホール(一部)で実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度 トイレ洋式化は、小学校9校32か所、中学校4校17か所で実施します(洋式化率62.7%(予定))。教室、体育館照明のLED化は、小学校9校、中学校4校、義務教育学校(体育館)1校、高校1校、幼稚園1園で実施します。 ●令和7年度 トイレ洋式化は、小学校6校27か所、中学校6校22か所で実施する予定です(洋式化率:64.4%(予定))。教室、体育館照明のLED化は、小学校4校、中学校4校、義務教育学校1校、東高校ホール(ホール内)で実施する予定です。 	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
健康を応援し、安心できる福祉のまちをつくりまします！	27	認知症無償診断制度を新設し、認知症に備え、安心して暮らせるまちづくりを進めます。	●「認知症施策検討委員会」を設置し、制度構築に向けた検討を行いました。	●引き続き、制度構築に向けて検討を進めます。	→
	28	フレイル予防対策として生活習慣病の重症化予防を保健師が個別指導するなど強化します。	●令和4年度より生活習慣病等を対象としたフレイル対策を開始し、令和5年度から口腔リスクのある方を追加し個別指導を実施しました。	●個別指導対象に健康状態不明者を追加し、事業を強化します。	○
	29	2021年にスタートした健康ポイント制度をいきいき体操などにも拡大を図り、健康増進を応援します。	●令和5年度より対象者を70歳以上から65歳以上に拡大して実施しました。	●大学と連携し介護予防等の観点から効果検証を実施し、結果に基づいた事業を検討していきます。	→
	30	歯科医療と口腔健康管理を通じて全身の健康増進、健康寿命の延伸につながる施策に取り組みます。	●令和4年度に国モデル事業を活用して、「30歳」の歯科検診を実施し、受診率・市民意識等について事業検証を行いました。	●令和7年度からの歯周疾患検診の対象者拡大(20歳、30歳の追加)について検討していきます。	△
	31	地域包括支援センターの体制強化・拡充を図り、地域の中で温かい介護が受けられるまちをつくりまします。	●国から示されている高齢者人口1,500人に1名の専門職の配置を目指し増員を進め、令和5年度には高齢者人口1,500人に1人の配置を達成しました。	●各圏域の高齢者人口の増加に応じ、適宜専門職の増員を図り体制を強化し、すべての高齢者が、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。 ●重層的支援体制の整備を見据えて、地域包括支援センターの職員が多様な業務に適切に対応できるよう、関係機関や市役所関係課の業務についてより理解を深めるための研修を行います。	○
	32	2019年に導入した「あいサポート運動」などを通じて障害への理解を深め、障害の有無にかかわらず自分らしく生き、暮らしていける地域を作ります。	●あいサポーター養成講座を開催し、令和6年3月末現在で、あいサポーター数は延べ2,321人、あいサポート企業・団体数は延べ14団体となっています。	●市民、企業、団体へのあいサポーター養成講座を継続して開催します。 ●学齢期からの正しい障害理解が重要であるため、子供に向けたイベントや講座内容の検討を行います。	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
健康を応援し、安心できる福祉のまちをつくります！	33	母親の孤立や子育ての不安を支える産後ケア事業を、従前の訪問型だけでなく休養やケアを目的とした宿泊型や通所型を追加拡充します。	●令和4年12月から宿泊型2か所、通所型4か所で事業を開始し、令和5年度末現在で宿泊型8か所、通所型10か所となっています。	●施設利用ニーズを満たしているため、現状を維持しながら事業を実施していきます。	○
	34	受動喫煙対策や食生活のサポート、心の健康支援など市民の心身共に健康な毎日を支える取り組みを進めます。	●新たな啓発等事業を実施したほか、市民の健康づくり施策を推進する基本計画となる第3次西宮市健康増進・食育推進計画を策定しました。	●受動喫煙対策の取組をより進めるとともに、第3次西宮市健康増進・食育推進計画の推進及び新たな啓発等事業を実施していきます。	△
	35	県市統合新病院の2025年開院を実現し、最先端医療を市内で提供するとともに、コロナ禍も踏まえ感染症にも備えた病院とします。	●高度急性期や救急医療とともに感染症にも対応できるよう設計し、令和5年7月に建設工事に着工しました。	●令和8年度上半期の開院に向けて、建設工事を進めています。	○
	36	県市統合病院に救急ワークステーションを設置し、市内の救急救命体制を強化します。	●施工に向けた調整や、運用に関する調整を行いました。	●令和7年4月頃から庁舎建設に着工し、令和8年1月頃に竣工、令和8年度上半期より運用を開始する予定です。	○
	37	市立中央病院跡地へ民間病院を誘致し、阪急神戸線以北の一次救急医療体制を維持します。	●民間病院誘致の方針を令和4年9月に公表し、民間事業者との対話など公募に向けた準備を進めました。	●資産の有効活用を前提とした民間医療機関誘致に向けて調整を進めています。	△

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況
まちのにぎわい・市民活動を支え、産業基盤を強化します！	38	<p>新たに設置した生涯学習プラットフォームを発展させ生涯学習のすそ野を広げるとともに地域活性化を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内関係部局が連携して、地域づくりに資する生涯学習施策を推進する体制を強化しました。 ●生涯学習・地域づくりコーディネーターと共に、市内だけでなく、地域団体や企業等のさまざまな地域資源との連携を更に進め、生涯学習による地域づくりを推進しています。 ●市内連携を推進する職員研修「未来づくりパートナーズcafe」を開催しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習・地域づくりコーディネーターと共に、市内だけでなく、地域団体や企業等のさまざまな地域資源との連携を更に進め、生涯学習による地域づくりを進めていきます。 ●市内連携研修の参加課を増やすとともに、職員の主体的な参画を促していきます。 	○
	39	<p>改築する越木岩センターはじめ、公民館等を多世代交流拠点として活性化させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和8年度中の供用開始を予定している(仮称)越木岩センターについて、社会福祉協議会と連携して地域団体や個人等で構成する(仮称)越木岩センター準備委員会を設置し、地域の拠点施設としての活用に向け協議を進めています。 ●公民館3館で地域づくりワークショップを開催するなど、地域づくりの拠点としての再構築に向けた取組を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、地域の拠点施設としての活用に向け、(仮称)越木岩センター準備委員会で協議を進めていきます。 ●公民館地域づくりワークショップにおける好事例を広く共有し、他館へと拡大していきます。 	○
	40	<p>図書館パワーアップ計画をさらに進め、学校と連携した読書振興や書籍貸出ロッカーの導入など市民利便性を高めて行きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●図書資料の新規購入・劣化資料買換えを促進しました。 ●令和5年3月より予約資料受取ロッカーをJR西宮駅前と上甲子園センター内に設置、7月より北口図書館に自動返却機を導入しました。 ●令和4年度より市内イベント等で配本サービスや、図書館魅力アップ事業(中学生～大学生との協働)を開始しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、図書資料の新規購入・劣化資料買換えを促進します。 ●ICT化の効果により、蔵書点検に伴う休館期間を大幅に短縮します。 ●改築する(仮称)越木岩センターにおいて、地域交流型の図書館を整備します。 ●阪神西宮駅北側に移転を予定している中央図書館において、従来の図書館機能に加え、駅前立地を生かした居場所機能や交流機能を強化した図書館の整備に向けて検討を進めます。 	○
	41	<p>宮水学園や就労支援、ボランティア活動支援などを通じて高齢者のいきいきライフを支えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症の状況に留意し、学習と交流の場である「宮水学園」を運営しました。 ●「中高年しごと相談室」は、令和5年12月より就労支援センター「Job Chanceにしのみや」として、年齢を問わず就労支援を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●多様な講座を提供し、学習と交流の場を通じて受講者の自発的な活動の支援を行います。 ●引き続き、就労支援センター「Job Chanceにしのみや」で就労支援を実施します。 	○
	42	<p>西宮が誇る文化・芸術・音楽や古典芸能などを市民と共に支え、豊かな文教住宅都市を守り、次世代へ受け継ぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術関係団体と連携した西宮市芸術祭や小中学校への文化芸術アウトリーチ事業など各種文化芸術振興事業を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が文化芸術に「みる」「する」「ささえる」と様々な形で関わる機会と場を持てるよう、関係者と連携を図り、各種文化芸術振興事業を実施していきます。 	○
	43	<p>地域と学生をつなぐ仕組みを強化するなど大学交流センターの機能を拡充します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カレッジタウン西宮構想の30年経過を機に、大学交流センター及び大学交流協議会の新たな運営方針の策定に取り組み、令和5年3月にカレッジタウン西宮ビジョン2023を策定しました。 ●カレッジタウン西宮ビジョン2023に基づく共通単位講座の実施や大学交流センター及び大学交流協議会のあり方を検討しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民活動団体の交流や活動の推進拠点である市民交流センターとの再編を進めるとともに、地域と学生をつなぐ仕組みの構築等に取り組みます。 	△

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
まちのにぎわい・市民活動を支え、産業基盤を強化します！	44	市内大学と連携した産学官連携や、女性のスモールビジネス支援などの起業支援を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●女子学生のためのライフプランニング支援事業を大学交流協議会との共催事業として実施しました。 ●女性のためのチャレンジ相談や起業支援講座を実施しました。 ●令和4年4月より、にしのみや起業家支援センターを開設し、各種セミナーや交流会の開催について補助を実施しました。 ●女性のデジタル人材育成に向けた連携協定を締結しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、ライフプランニング支援事業や、チャレンジ相談、起業支援講座を実施していきます。 ●にしのみや起業家支援センターへの補助を継続し、他の機関との連携をより促進していきます。 ●連携協定に基づき、女性のデジタル人材育成事業である「西宮市女性デジタル人材育成プロジェクト」に取り組み、女性の就労につなげていきます。 	○
	45	西宮の潜在的コンテンツを市内外への発信を強化し、域内観光支援や都市ブランドの発信を戦略的に進めます。	●他自治体や事業者と広域で連携し、日本酒や阪神間モダニズムなどの情報発信を行い、地域活性化、誘客促進に努めています。	●広域連携のほか、大阪・関西万博に向けて兵庫県と連携し、域内観光支援や都市ブランドの発信に取り組みます。	○
	46	就任後、品目数と寄付額が約3倍となったふるさと納税を、新たに体験型返礼品を加えるなどして寄附額拡大を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ●新たに宿泊施設や飲食店の利用券の返礼品を登録し、引き続き、市内事業者との交渉を継続しています。 ●令和5年3月より楽天ふるさと納税サイトを導入しました。 ●ふるさと納税タスクフォースを立ち上げ、ふるさと納税の強化に向けて取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新規返礼品登録数を増加させる取組を継続し、登録に関する情報発信を強化していきます。 ●ポータルサイトの追加を引き続き検討します。 ●PayPay商品券の導入など、タスクフォースからの提案事業を実現していきます。 	△
	47	企業版ふるさと納税を活用して、子どもたちが文化芸術を直接体験できる事業の実現に取り組みます。	●令和4年度に企業版ふるさと納税を活用し、大谷美術館の開館50周年記念事業や無料開放デーを実施しました。	●企業版ふるさと納税を活用して市制施行100周年イベントを市内14か所で開催します。	○
	48	地域に根を張り、雇用を産み出している市内事業者を支え、育成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●国の地方創生臨時交付金を利用し、厳しい環境にある中小企業等がデジタル技術を活用した販路開拓や生産性向上に取り組む事業に対して補助するなど、市内事業者向けの施策を実施しました。 ●中小企業等のDXを推進する取組の支援を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●第4次西宮市産業振興計画の基本方針に従って各種施策を展開していきます。 ●引き続き、中小企業等のDXを推進する取組の支援を実施していきます。 	○
	49	市有施設を活用してバックオフィス事業などを誘致し市内在住者の就労先を創出します。	●目的・内容が類似する近隣他市事例について調査・研究を行いました。	●引き続き事業の実施に向けて調査・研究していきます。	→
	50	老朽化した中央運動公園再整備を進め、ZEB体育館など環境配慮もしながら、市民が憩う、健康・体づくりの拠点とします。	●スポーツと公園が融合するにぎわいのある公園を目指し、「2050年ゼロカーボンシティ」を掲げる本市の公共施設として、できる限り環境水準を高めるとともに、新中央体育館はZEB Oriented認証取得を必須として、事業者を公募し選定しました。	●令和5年度末に正式に契約を締結し、令和6年度は設計作業などを進めていき、令和7年度に新築工事に着手する予定です。新陸上競技場及び新体育館は令和9年中のオープン、公園全体の供用開始は令和11年3月を予定しています。	○
	51	文化・スポーツ施設がより利用しやすくなるよう利用時間や運用の工夫を進めます。	●一部のスポーツ施設において、早朝の利用時間拡大(延長)を実施したほか、松原体育館をスポーツ施設として位置付け、指定管理者制度の導入による開館日数の増や利用時間の延長を実施し、利用者の利便性の向上を図りました。	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ施設について、利用者のニーズや近隣市の状況などを踏まえながら、施設の利用促進につながる運用の見直しを検討していきます。 ●文化施設の使用料の支払方法として、従来の現金払いに加え、キャッシュレス決済(PayPay)を導入します。 	○

政 策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況
52	スポーツを核とした甲子園エリアの賑わいの創出を一層進め、鳴尾地域全体の活性化につなげていきます。	●スポーツを核とした甲子園エリア活性化推進協議会の事業として、甲子園キッズフェスタや3X3などの賑わい創出事業や情報発信事業、プラットフォーム事業を実施しました。	●引き続き、スポーツを核とした甲子園エリア活性化推進協議会の事業として、賑わい創出事業や情報発信事業を実施していきます。	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
市民のくらし、安全・安心のまちづくりを進めます！	53	警察や防犯協会など地域との協力を通じて、安心・安全なまちづくりを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●市と警察署、防犯協会によって締結された「西宮市地域防犯活動の推進に関する協定」を基に、定期的な連絡会や地域での講習会などを行い、相互に協力して地域防犯活動の推進を行っています。 ●令和5年度は警察署、防犯協会の協力を得て、特殊詐欺等対策電話機等購入補助金事業を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、市と警察署、防犯協会と相互に協力して地域防犯活動の推進を行います。 ●令和6年度も警察署、防犯協会の協力を得て、特殊詐欺等対策電話機等購入補助金事業を実施します。 	○
	54	まちの品格を保ち、子どもたちの健全な教育環境を守るために、ガールズバー等の客引きに対策を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●商店街等が実施するのぼり旗の設置等について協力しました。 ●令和5年度は県条例の禁止地区に指定するよう県と協議しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●県及び警察との連携をより深めるとともに、地域の自主的な活動をバックアップしていきます。 ●令和6年4月2日に県条例の禁止地区に指定するよう県に要請書を提出しました。 	○
	55	居住支援協議会を設置し民間賃貸住宅へ入居が困難な方を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ●住宅の確保にお困りの方の民間賃貸住宅のすみかえをサポートするため、NPO法人と居住支援連携の体制を構築しました。 ●住宅の確保にお困りの方のための相談窓口を設置し、住まい探しに必要な知識や情報の提供を行いました。 	●引き続き、住宅の確保にお困りの方のための相談窓口を設置して、情報提供を行っていきます。	○
	56	管理不全空き家への対応強化や、緊急対応するための条例を制定して空き家対策を進めます。	●国の法令では緊急対応できない部分について、市が緊急安全措置をできるように補完する条例の素案を取りまとめ、パブリックコメントを実施しました。	●パブリックコメントの結果を踏まえた条例の最終案を取りまとめ、令和6年6月市議会定例会で条例案を上程し、同年9月1日施行予定で進めています。	△
	57	コミュニティバスの複数地域での試験運行を始めるとともに、他地域でも移動支援の検討を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●名塩地区では、令和4年から令和5年にかけて2回の試験運行を実施しました。 ●甲陽園地区では、令和5年から試験運行を実施し、第2回試験運行を令和6年8月30日まで実施します。 ●山口地区では、令和5年に試験運行を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●名塩地区では、令和6年4月1日より本格運行を開始します。 ●甲陽園地区では、引き続き試験運行を実施し、本格運行に向けた支援を行います。 ●その他の地域においても、検討の熟度に応じた支援を行っていきます。 	○
	58	市内におよそ60か所設置した「どうぞベンチ」をさらに拡充し、市民要望箇所にも増設します。	●市民要望箇所を調査し、寄附金額に応じてベンチを6基設置しました。	●市民要望箇所の未設置分についてベンチを設置します。	○
	59	ポートの拡充などを通じてシェアサイクルをさらに便利で身近な移動手段とします。	<ul style="list-style-type: none"> ●シェアサイクル事業の効果や継続性などを検証するため、民間事業者と連携して利用動向調査を実施しました。 ●サイクルポートの設置を進め、市内76か所に設置しました(令和6年3月末時点)。 	●令和6年4月1日より本格実施を開始します。引き続き、公共用地のサイクルポートの設置を進め、利用者の利便性向上に努めます。	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況
市民のくらし・安全・安心のまちづくりを進めます！	60	<p>自動車の安全走行につながるハード整備に加えて、自転車の左側通行徹底などマナー啓発を強化し、安全な自転車環境を整えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度より小曾根線の自転車道リニューアル工事に着手したほか、令和5年度より幹第6号線の道路改良に伴う自転車通行空間の整備に着手しました。 ●自転車通行の注意喚起サインの設置や、警察と連携した自転車安全教室等を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●小曾根線の自転車道リニューアル工事、幹第6号線の自転車通行空間の整備を進めます。 ●引き続き、自転車通行の注意喚起サインの設置や、自転車安全教室等を活用した啓発活動を実施していきます。 	○
	61	<p>南海トラフ沖地震や大規模自然災害への備えとしての防災対策を進め、災害時の要援護者の支援体制を整えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●災害リスクの高い人を対象とした個別避難計画作成のスキームについて検討しました。 ●福祉施設等の避難計画作成の促進や管理業務の合理化を図るため、避難確保計画管理システムを導入しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●個別避難計画対象者の抽出スキームの構築など、災害リスクの高い人を優先的にした個別避難計画の作成に向けて検討を進めます。 ●避難確保計画管理システムを本格稼働し、福祉施設等における計画作成の促進や管理業務の合理化を推進していきます。 	△
	62	<p>学校の受水槽を活用した拠点給水を整備するなど、災害時の応急給水体制を整えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●近隣に緊急貯水槽等の設備のない学校及び救護所設置予定の学校など、優先順位の高い学校から災害時に応急的に利用できる給水栓を整備し、延べ41校に設置しました(令和5年度末)。 ●給水栓の整備が完了した学校で訓練を実施しました(令和5年度 8校で実施)。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年度は新たに11校で整備を行い、残る8校は学校の改築・長寿命化改修・大規模改修工事の実施に併せて整備していきます。 ●給水栓の整備が完了した学校で、順次、訓練を実施していきます。 	○
	63	<p>地域の防災専門人材を育成し、地域人材の活用による地域防災力の強化を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和4年度に市が資格取得補助をした防災士にアンケート調査を行うなど、活動実態や地域活動への参画に対する調査を実施しました。 ●防災士資格取得者向けの研修会の開催や、防災士間のネットワークづくりの支援を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市の補助を受けた防災士を中心とした防災士の会の結成を支援していきます。 ●防災士と協働して、出前講座や小学校区での避難所開設運営訓練などを実施していきます。 	○
	64	<p>武庫川の継続的な治水対策をはじめ、津門川や高潮などの水害対策を引き続き取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●河川整備計画に基づく治水事業及び高潮対策の早期完成に向け、国への要望活動を行ったほか、工事の進捗状況についての情報発信及び地元調整など、県の事業に協力しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、河川整備計画に基づく治水事業及び高潮対策の早期完成に向けた国や県への要望活動を行うほか、工事の進捗状況についての情報発信及び地元調整など、県の事業に協力していきます。 	○
	65	<p>多様な市民ニーズに応える合葬式墓地の公募を開始すると共に、市営墓地のあり方など墓地墓苑行政について社会の変化を見据えた検討を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●令和4年3月に竣工した白水峡公園墓地内の合葬式墓地施設の募集受付を令和5年10月より開始しました。 ●市営墓地のあり方について、市民ニーズ等の把握のため市政モニター制度による調査を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和6年4月から合葬式墓地の納骨作業を開始します。 ●市営墓地のあり方について、墓じまいの増加に伴う一般墓地の空き区画の募集(再貸付)を積極的に実施していきます。また、無縁化対策についても、検討を進めます。 	△

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
都市基盤整備を進め、西宮の魅力をさらにアップします！	66	市が保有する公有地などを全面的に活用し、県の構想とも協働してバイエリア地域の再編・活性化を図ります。	●臨海部土地利用構想の検討に着手し、旧リゾ鳴尾浜の跡地活用を含めた鳴尾浜臨海公園南地区の再整備などについて検討しました。	●引き続き、臨海部土地利用構想の検討を進めます。 ●鳴尾浜臨海公園南地区の整備は、東側駐車場及び花工房を除く区域において、民間活力の導入を図りながら公園の再整備を進めていきます。また、東側駐車場及び花工房は、必要な法的手続きを経て産業用地として土地利用転換し、活用を図ります。	△
	67	国が進める名神湾岸連絡線建設工事については、影響を受ける市民・事業者の側に立ち影響を最小限に留める対応をします。	●名神湾岸連絡線を所掌する部署を新たに設置して市組織の充実を図るとともに、国、県と連携して市民等に対して事業に関する丁寧な説明に努めました。	●国、県と連携し、市民等に対して事業進捗等に関する情報提供や説明会を実施するとともに、事業の着実な整備を国に求めています。	△
	68	阪神西宮駅北側の民間開発とあわせて周辺の都市機能を一新し、利便性の高い駅前図書館を整備します。	●民間事業者より提案書を受領し、開発に向けて基本協定を締結しました。 ●新中央図書館移転整備基本構想・基本計画の策定に着手し、他市の図書館の調査や、市民からの意見なども聞きながら、新図書館のコンセプト等について検討し、素案を策定しました。	●施設建築物基本計画の策定を進めるほか、事業化に向けて民間事業者との協議を進めます。 ●新中央図書館移転整備基本構想・基本計画のパブリックコメントを実施します。	△
	69	国道176号名塩道路早期全線開通を目指し、生瀬工区と同時期に東久保工区の開通を国へ強く要望します。	●国道176号名塩道路全線の早期完成、及び東久保地区の開通時期の公表と生瀬地区との同時開通に向けた要望活動を行い、令和6年3月に生瀬トンネルが開通しました。	●引き続き、早期全面開通に向けて国への要望活動を行うほか、工事進捗を図るため、地元調整や用地買収など、国への事業協力を行います。	△
	70	塩瀬、山口地区の行政手続等の利便性向上を図るためICTの活用等により支所機能拡充を進めるとともに、地域の活性化にも取り組みます。	●令和2年度に設置した遠隔窓口相談システムを活用して、土地・家屋価格等縦覧帳簿の縦覧や、障害者に対する有料道路通行料金の割引措置に関する証明事務などを行いました。	●引き続き、遠隔相談窓口システムを活用した窓口サービスを実施するほか、コンビニ交付やオンライン申請の活用など利便性の向上に努めるとともに、地域の活性化にも取り組みます。	△
	71	尼崎市などと合意した阪急武庫川新駅の早期実現と周辺整備を進めます。	●令和4年度に西宮市、尼崎市、阪急電鉄(株)との三者で、新駅設置等に関する基本合意書を交わし、国や関係機関との協議を進めるとともに、周辺地域に対する地元説明会を実施しました。 ●武庫川広田線(上之工区)の事業実施に向けて予備設計を実施しました。	●新駅設置に関する基本協定等の締結に向けて、協議等を進めます。 ●武庫川広田線(上之工区)の事業認可の手続きを進め、整備に着手していきます。	○
	72	国道171号線から北に関西学院大学までのびる都市計画道路である今津西線の整備を進めます。	●事業実施に向けて予備設計を実施し、令和5年12月に事業概要及び測量に関する地元説明会を開催しました。	●事業認可の手続きを進め、整備に着手していきます。	△

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
都市基盤整備を進め、西宮の魅力をさらにアップします！	73	甲陽園地区の大池に隣接する元市営住宅跡地の開発に着手し、その開発の一環として甲陽園市民館の建て替えを行います。	●新たな土地利用条件を検討するため、サウンディング調査を実施しました。	●市営住宅跡地活用事業者を選定し、開発事業に着手します。 ●甲陽園市民館の建て替えについては、市営住宅跡地開発の進捗に応じて協議を進めていきます。	→
	74	江上町市有地(保健所後、市住跡)の一部に公園機能を整備し地域の憩いの場をつくります。	●市有地の有効活用に向けたサウンディング型市場調査を実施し、民間事業者の意見を聴取しました。	●旧保健所庁舎と江上庁舎の解体工事に着手し、市有地の有効活用の事業者選定を開始します。	○
	75	都市公園の新設や老朽化公園のリニューアルを進め、潤いあるまちづくりを進めます。	●特に公園の少ない上ケ原小学校区の土地を公園整備のために取得しました。 ●ハツ松公園(令和4年度)、深谷公園(令和5年度)のリニューアル工事を実施しました。	●上ケ原四番町中公園の整備を実施します(令和6年度)。また、県市統合病院の整備に併せて(仮称)大塚中公園の整備を実施します(令和7年度～令和8年度)。 ●弁天公園のリニューアル工事を実施します(令和6年度)。	○
	76	市の魅力の維持向上を図るために、夙川の松や桜に代表されるような、景観資源を活かす取り組みを進め、良好な住宅地の景観形成に取り組みます。	●西宮市都市景観条例、都市景観基本計画に基づく景観資源を活かした協議等や、夙川周辺地区景観形成推進地区の周知等に取り組みました。 ●桜の名所夙川公園を未来にわたり保全するため、樹木等の中長期的な保全管理計画の策定に取り組み、樹木調査解析評価を実施しました。	●西宮市都市景観条例、都市景観基本計画に基づく景観資源を活かした協議等や、夙川周辺地区景観形成推進地区の住民による制度活用の支援に取り組みます。 ●桜の名所夙川公園を未来にわたり保全するため、樹木等の中長期的な保全管理計画の策定に引き続き取り組みます。令和6年度は計画素案を作成し、パブリックコメントを実施します。	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
環境学習都市として環境問題に正面から取り組みます！	77	2050年環境都市ビジョンの策定を通じて環境学習都市宣言やゼロ・カーボンシティを表明した自治体にはふさわしい持続可能なまちづくりをめざします。	●「第3次西宮市環境基本計画」及び「第二次西宮市地球温暖化実行計画(区域施策編)」を改定し、ゼロカーボンシティに向けた目標設定の見直しや環境学習のバージョンアップに向けた方向性を盛り込みました。	●環境学習のバージョンアップやゼロカーボンシティの実現に向けた施策の検討を進めるほか、中高生に対する環境学習の強化など学校園や地域との協働による環境学習の更なる推進を進めていきます。	△
	78	2030年までに公共施設電力ゼロカーボン達成に取り組みます。	●既存公共施設のLED化など省エネ化に取り組むとともに、廃棄物発電の供給先拡大や、太陽光発電などの再エネの導入に向けて検討しました。	●引き続き、既存公共施設のLED化などの省エネ化に取り組みます。 ●公共施設の電力調達脱炭素化を推進するため、太陽光発電設備の設置や、電力市場の状況等を勘案しながら、再エネ比率の高い電力調達についての検討を進めます。	△
	79	自然エネルギー基本条例(もしくは基本指針)を策定し、市内の住宅や事業所への自然エネルギー導入支援と住環境保全をはかります。	●「開発事業等におけるまちづくりに関する条例」の規則改正の動きを進め、太陽光パネルを緑地面積に含めることで、自然エネルギー導入支援を図ります。 ●野立て太陽光パネルの禁止区域設定について検討に着手しました。	●市有地に近隣住環境に配慮した自然エネルギー施設の導入を検討するとともに、市民の住宅の断熱化などゼロカーボン推進に資する事業の検討を進めます。 ●野立て太陽光パネルの禁止区域設定に関する条例について協議を進めていきます。	△
	80	公共施設はもちろん民間建物にもゼロカーボン建築を推進するための基準作りをすすめます。	●「西宮市公共施設環境配慮指針」に、公共施設の新築時や改修時におけるゼロカーボン化に向けた「省エネルギー性能基準」を設定しました。	●「西宮市公共施設環境配慮指針」に基づく公共施設の省エネ化を推進します。 ●国のZEH等の民間建物への基準を活用し、ゼロカーボン建築推進について、検討していきます。	△
	81	ゴミ分別の見直しや資源ごみ回収拠点の設置を通じて資源回収と可燃ごみ削減を進めます。	●令和5年4月より上甲子園5丁目に古紙回収拠点を設置し、運用を開始しました。 ●令和5年6・7月に一部地域にて実施した製品プラスチック一括回収モデル事業を実施しました。 ●令和4年4月からの指定袋制度の導入後、令和4年度生活系ごみの1人1日あたり排出量は前年度比7.9%減の473g/人・日、再資源化率は前年度比1.8ポイントアップの15.6%となっており、着実にごみの減量と再資源化が進んでいます。	●古紙回収拠点の利用状況等を分析し、回収拠点の増設等、今後の事業展開を検討していきます。 ●令和8年度の新分別区分実施に向けた検討を進めます。	○
	82	市立公園内等のごみ箱を原則撤去し、地域の憩いの場である公園など生活環境の美化向上やプラスチックごみ散乱を防ぎます。	●令和4年度から令和6年度の3か年で約300基のクズカゴ撤去に取り組み、令和5年度末までで181基のクズカゴを撤去しました。	●令和6年度は、特にクズカゴの残置希望が多い地域と協議中の公園を除き、すべての公園クズカゴの撤去が完了する予定です。	○
	83	森林環境譲与税を活用し、住宅隣接地などの森林保全整備を進めCO2吸収増によるカーボン・ニュートラルの取り組みを進めます。	●民有地の里山林整備についての助成制度(里山林整備支援事業補助金)を創設し運用を開始しました。 ●市内北部地域の住宅隣接地にある緑地の森林整備を実施しました。今後、複数年に渡り継続して行うことで、森林の若返りによるCO2吸収機能の強化を図ります。 ●生活協働組合コープこうべと連携し、社家郷山における森林整備を実施しました。	●里山林整備支援事業補助金制度を継続し、制度について関係機関への周知を行って利用促進を図ります。 ●引き続き、市内北部地域の住宅隣接地にある緑地の森林整備を実施し、森林の若返りによるCO2吸収機能の強化を図っていきます。 ●環境省により「生物多様性保全上重要な里地里山」に指定された場所について、森林ボランティア団体等と連携し、森林整備を実施していきます。	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
シチズンシップのまちづくり、市民と共に歩みます！	84	「参画と協働の推進に関する条例」の検証を行い、シチズンシップの醸成と市民の地域参画が一層進む、市民が主役のまちづくりへの取り組みを強化します。	●「参画と協働の推進に関する条例」の検証のための各種調査を実施し、条例評価委員会より検証結果の提言を受けました。	●提言書を踏まえ条例や運用の見直しを行い、市民や地域主体のまちづくりを推進していきます。	△
	85	文教住宅都市宣言から60年を迎える2023年に、平和非核都市、環境学習都市と共にその理念を受け継ぐ企画を催します。	●令和5年11月4日に記念式典を開催し、三つの都市宣言とまちづくりの歴史を振り返りました。また、令和7年の市制施行100周年のロゴマークやキャッチフレーズの発表を行いました。 ●記念式典の開催に併せて、これまでの環境学習事業を振り返り、環境や防災に関する市民への広報、啓発を目的に「環境まちづくりフェスタ」を開催しました。 ●令和5年12月10日に、平和非核都市宣言40周年事業として、平和の大切さや尊さを考える機会とすることを目的に「平和のつどい」を実施しました。	●令和5年度の取組から市制100周年に向けて、より一層の機運醸成を図るべく、引き続き広報、啓発に取り組んでいきます。	○
	86	2025年に迎える市制100周年に、文教住宅都市の理念を市民と共有し将来に受け継いでいくことを目的とした市民参加型のイベントを実施します。	●記念事業の旗印となるロゴマークとキャッチフレーズを公募により決定しました。	●「まちなかにぎわい事業」として、市民団体や事業者等が独自に主催する事業について市制100周年のロゴやキャッチフレーズを活用していただく「冠付事業」や、市制100周年のPRに意欲的な企業・団体等をパートナーとして登録し、登録企業・団体等が所有する広報媒体でのロゴやキャッチフレーズの活用、記念商品の開発や販売をしていただく「PRパートナー事業」を推進していきます。	○
	87	総合コールセンターを導入し市民利便性を高めるとともに職員の働き方改革も進めます。	●令和5年6月から総合コールセンターの運用を開始しました。併せて、よくあるご質問とその回答を記載したFAQサイトを公開しました。	●引き続き、FAQ(よくある質問と回答)を充実させることで、総合コールセンターの機能向上と市民がより簡便に自己解決を図ることができるよう努めます。	○
	88	市役所窓口に「おくやみコーナー」などワンストップ化サービスを充実させ市民にとってより便利な市役所をつくります。	●令和5年10月に、死亡手続きに関する個々の状況に応じた必要な手続きや関係所管の案内、申請書等の作成補助を行う「おくやみコーナー」を開設しました。	●「おくやみコーナー」を継続するとともに、コンビニで取得できる証明書の種類を増やすなど、更なるサービスの充実に向けて検討します。	○
	89	暮らしの手続きや行政内部のICT化を加速度的に進め、スマホで行政手続きを完了できるなど便利でスマートな西宮市を実現します。	●庁内の多様な手続きのオンライン化を更に推進することを目的として、「電子的処理による事務効率化等に向けた指針」を策定しました。 ●窓口等における手続きの電子化に取り組みました。 ※にのみやスマート申請を使ったオンライン手続き数 令和4年3月末・・・17件 令和6年3月末・・・169件	●引き続き、窓口等における手続きの電子化の拡大に向けて、取組を進めます。	△
	90	子育て、介護などセグメントごとに登録された市民にプッシュ型で情報提供を行うようにします。	●令和4年1月より子育て情報のセグメント配信を開始し、希望する情報をプッシュ型で提供しました。 ※セグメント配信希望登録者数 令和4年3月末・・・2,685人 令和6年3月末・・・10,139人 ※令和5年度配信件数・・・135件	●引き続き、セグメント配信の拡大について検討し、プッシュ型の情報提供を実施していきます。	△

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
シチズンシップのまちづくり、市民と共に歩みます！	91	市民により伝わる広報、市民の声を市政にいかす広聴への取り組みをさらに進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●広報分野で豊富な経験をもつ外部人材を「広報アドバイザー」として登用(令和5年6月14日～令和5年11月30日)し、組織全体の広報力向上、市民により伝わる広報につながる研修等を実施しました。 ●市民の声システムの導入とともに、市民から寄せられた質問や意見について、回答と併せて公開しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、組織全体の広報力向上・職員のマインド醸成に取り組むとともに、今後の広報のあり方について検討を進めます。 ●引き続き、市民から寄せられた質問や意見と、それに対する回答を公開することで、市民への情報提供がより充実するよう努めます。 	△
	92	審議会など公開会議のオンライン配信を行い、広く市民が議論に触れる機会を作ります。	<ul style="list-style-type: none"> ●市民が教育に関する議論に触れる機会となるよう、総合教育会議の録画配信を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、総合教育会議の録画配信を実施します。その他の会議についても録画配信の実施について検討していきます。 	△
	93	市民の声を政策提案に取り込む仕組みや市政評価に反映させる取り組みを進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ●市政モニター制度による調査や、LINEによるパブリックコメント受付を実施するとともに、市民の市政に対する意識、評価などを把握し、市政運営に反映するための手法について検討しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ●これまで実施している各施策を進めるとともに、引き続き新たな取組について検討していきます。 	→
	94	引き続き「アクティブな市長」を実践し、地域に出向き市民との対話にさらに積極的に取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> ●現地開催とオンライン開催を同時に行うハイブリッド開催など、内容の充実を図りながら、市民が参加しやすい広聴会を実施しました。 令和4年度:5会場、100人参加 令和5年度:7会場、168人参加 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、現地開催とオンライン開催を同時に行うハイブリッド開催の実施や内容の充実を図りながら、市民が参加しやすい広聴会を実施していきます。 	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況	
行政経営改革を、さらに、前へ！	95	事業の統合・改善や市有財産の活用など、新たな課題の解決に向け、必要な財源をねん出する行政経営改革の取り組みを強化します。	●令和4年度に策定した行政経営改革中期実行計画(令和5～7年度)に掲げる各取組の推進と、実効性の高い行政マネジメントの再構築や財政構造改善基本方針に基づく取組の中で事業の選択と集中を進めています。	●引き続き、行政経営改革中期実行計画に掲げる各取組の推進と、実効性の高い行政マネジメントの再構築や財政構造改善基本方針に基づく取組の中で事業の選択と集中を進めていきます。	△
	96	組織ごとの組織目標を公開し、市民に各局の取り組みを見える化して、オープンな市政を市長のリーダーシップのもとで進めます。	●局運営方針として、各局の役割や令和5年度の重要な取組について分かりやすく市ホームページで公表しました。	●各局の役割や重要な取組について、内容を一層充実し、分かりやすく市ホームページで公表していきます。	○
	97	外部のすぐれた知見を市政にいかすため、積極的に民間人材の活用を進めます。	●「企業版ふるさと納税」制度を活用した外部人材の任用方法等の手法・課題整理を行い、令和6年4月1日付で1名任用しました。 ●「生涯学習・地域づくりコーディネーター」を活用し、若手職員の庁内連携研修、(仮称)越木岩センター整備に向けた越木岩地域における地域づくりの取組支援、大学交流センター共通単位講座の支援等に取り組みました。	●「企業版ふるさと納税」制度を活用した外部人材の採用を進めます。 ●「生涯学習・地域づくりコーディネーター」を活用し、新中央図書館移転整備に向けた機運醸成の取組支援等、さまざまな地域づくりの取組を推進します。	○
	98	市役所が率先して、ハードソフト両面から女性職員が働きやすい環境づくりを進めます。	●育児休業取得前や休業中、復職後の職員、及び管理監督職に対する啓発のための研修を実施しました。 ●法改正を受けて令和4年10月より育児休業の分割取得を導入しました。 ●新型コロナウイルス感染症対応として導入した在宅勤務、時差勤務を継続して運用しています。	●令和5年度の取組状況を踏まえ、より働きやすい環境づくりを進めます。	△
	99	メリハリある給与表へ改訂するとともに、成果を出した職員が報われる制度を導入します。	●令和5年度より、職務給の原則に基づいたメリハリのある給料表を導入しました。また、頑張った職員が報われる仕組みを導入しました(課長級以上対象)。 ●低評価の職員に対する指導・研修のスキームを検討しました。	●令和5年度の取組状況を踏まえ、適切な運用を図っていきます。	△
	100	不祥事再発防止策の強化とともに、風通しよく明るい組織、市民の立場に立った仕事を徹底するなど、信頼される市役所をつくります。	●不祥事再発防止に向けた啓発冊子を改定し職員に周知するとともに、市長に直接意見を伝えられる電子版「目安箱」の設置や、市長から職員へのメッセージを発出することで、風通しのよい組織づくりに取り組みました。	●引き続き、市民に信頼される市役所を目指して取組を進めていきます。	○

政策		令和5年度までの実績、取組状況	令和6年度以降の取組予定 (令和6年度予算への計上内容含む)	進捗状況
新型コロナウイルス対応	101	コロナによって大きな影響を受けた事業者や、市民生活を支える事業を引き続き実施します。	—	—
	102	早期に接種間隔6か月とした3回目接種を着実に進め、感染と重篤化の予防に努めます。	—	—
	103	医師会や地域医療機関と協力し、保健所設置市として機動的かつ効果的な感染者対応を継続し、市民の健康を守ります。	—	—

※新型コロナウイルス感染症対応が終了したため、101～103は評価対象外としています